


事業名	ばお：パパとあそぼう（出張）（報告）		
目的	・父親の育児参加の促進		
主な対象	就学前の父子	参加者数	①12組（保17子15）②14組（保21子17）
日時	2023年9月10日（日）、2024年1月14日（日）午前10時～11時30分		
内容	お父さん同士のおしゃべり会・ふれあい遊び・ゲーム・おはなし		
関係団体	（共催：堺地域子育て相談センター・ばお分館WAAAO、協力：小山子どもクラブさん）		
様子	<p>父親の育児参加の促進を目的に、小山市民センターで行っている「パパとあそぼう」。今年度は、初めて年2回開催を行った。</p> <p>家で取り入れやすい子育てのヒントとしての「ふれあい遊び」、普段家庭ではできない体験の場としての「レクリエーション」、父親同士での交流・情報交換のきっかけとなる「パパミーティング」というプログラム構成で、父親がプログラムを通して、子育てのヒントを得たり、子育ての仲間づくりのきっかけとなる場の提供を行った。</p> <p>地域別の参加者としては1回目（相原2組、相模原3組、小山町5組、小山ヶ丘3組）2回目（相原5組、相模原4組、小山町5組、小山ヶ丘1組）となり、ばお利用者の参加も多く見られた。リピーターは5組となり、リピーター層の獲得は目的である「父親の育児参加の促進」に繋がる部分であり、複数回実施した意義があったといえる。</p> <p>会の様子として、先輩父に「子育ての大変な時期はいつだったか」、「具体的な育児方法のアドバイス」を問う姿や、おすめの居場所の情報交換など父親主体で会話を楽しむ姿が多くみられた。</p> <p>次年度も引き続き、年2回の開催予定。また、相原地区からの参加も多かったため、ばおで父親向けの子育て支援プログラムも検討中。</p>		
事業名	ばお：みんなで備えよう！防災デイキャンプ（報告）		
目的	<p>町田市子どもマスタープランに基づき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力をのばす</li> <li>・地域連携・人材育成の推進</li> <li>・体験活動ができる場の充実</li> <li>・子どもの安全・安心の確保</li> </ul>	 	
主な対象	小学生～18歳	参加者数	小19名、中高1名、ボラ5名 協力6名
日時	2023年2月11日（日・祝） 午前10時～午後4時		
内容	避難訓練・避難バック情報共有・消火体験・AED体験・起震車体験・炊き出し体験・他		
関係団体	堺おやし会・西町田出張所・消防団5-5分団・防災課		
様子	<p>コロナ禍中に実施ができなかった防災キャンプを、デイキャンプとして実施。堺地域小中学校の全児童生徒分チラシを配布した。</p> <p>申込みは30名と募集人数いっぱいになったが、前日当日の体調不良などでキャンセルが相次ぎ、10名が減り20名での実施となった。</p> <p>当日は10時になると子どもたちが避難を開始し、続々と集まってきた。避難者名簿に記載をしてもらうが、ほとんどの子は保護者の連絡先がかけなかった。万が一の時に備えて知っておこうと伝えた。</p> <p>西町田出張所が出動のため、こちらへの到着が遅くなったが、起震車体験を先に始めるなどの対応を取ることで臨機応変に対応できた。</p> <p>子どもたちは様々な体験を通し色々なことを学んだ。その中でも多く出たのは、お皿をラップでくるむことで、洗い物が減るなど、生活に直結した内容により敏感に反応している様子がうかがえた。</p> <p>堺おやし会のご協力でおいしいカレーを提供してもらった。</p> <p>スタッフが変わっていく中で、地域の方が一緒に運営を行ってくれることで継続的に人気のあるプログラム運営が行えた。すでに来年度の予定などを聞かれることもあり、子どもから保護者にかけての期待感を感じられるイベントとなった。</p>		
	  		

事業名	ばお：AWART ～あわ+アートニアート～（予告）		
目的	・体験活動の場の充実		
主な対象	4歳以上の児童	参加者数	定員無し（3月6日現在10名申し込みあり）
日時	2024年3月16日（土） 午前10時30分～正午		
関係団体	相原中央公園、多摩美術大学卒業生、在学生		
経緯・内容	<p>「相原中央公園芸術祭」の開催に当たり、地域の子もたちが、全身を使って遊びながら、楽しく芸術に触れる体験の機会としたいと思い、相原中央公園の呼びかけて企画しました。</p> <p>また、幅広い年代の子もたちが日常的に利用する子どもセンターを会場とすることで、多くの子どもや保護者の目に留まり、興味をひきかけとなると考え、子どもセンターばおで開催することになりました。</p> <p>1月20日に中央公園の桐生さん、多摩美術大学の卒業生の方2名、榎本館長と柴田で打ち合わせをし、詳細を決めました。</p> <p>作品は、5月4日、5日に「相原中央公園芸術祭」で展示される予定です。</p> <p>大きな布に泡の絵の具（ハンドソープに食紅で色を付けたもの）で描く</p>		
			
事業名	WAAO：ヴァイオリン体験会（報告）		
目的	・体験活動ができる場の充実		
主な対象	2歳以上	参加者数	77名（幼児25名、小学生29名、保護者23名）
日時	2023年7月より毎月1回開催 午後4時～4時30分		
内容	<p>①一人ずつ簡単な曲「たこたこあがれ」を講師のサポートにより弾いてみる</p> <p>②講師による演奏（1～2曲）</p>		
関係団体	地域ボランティア		
様子	<p>見たり触ったりするだけでなく講師のサポートのもと、2歳児から（1歳児も参加することも）ヴァイオリンの弦に弓を当てて滑らせ、「♪たこたこあがれ♪」の曲を弾く姿がとても微笑ましい。</p> <p>保護者は「うちの子天才？」と口には出さずともスマホで撮影し、嬉しそうな表情。幼児はなすがままの姿だが、小学生は、体験を重ねる度に音色が少しずつ変化していく子もいる。</p> <p>最後は、講師が演奏するヴァイオリンのきれいな音色が館内に響き始めると、ゲームに没頭している小学生も手を止めて集まり、無言で見つめ真剣な表情で聴き入る姿が見られた。</p>		
	